



INSTRUCTION MANUAL / 取扱説明書

ロンジンをとお選びいただきましてありがとうございます。ロンジンウォッチ、卓越した技術力とタイムレスなエレガンスが認められ、さらにブランドの長年のノウハウが息づいています。

La Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A.は、保証書に定められた条件に基づき、ご購入日より**ロンジン®腕時計の保証期間を2年間、2021年1月1日以降にご購入いただいた機械式時計の保証期間を5年間とします。**全ての時計の**ブレスレットには、素材または製造上の欠陥について2年間の国際保証が適用されます。**ロンジンの国際保証は、ご購入いただいたロンジンウォッチのお届け時に存在している欠陥パーツおよび製造上の欠陥を保証します。ロンジンの正規販売店が保証書に日付を入れ、必要箇所が完全に記入された場合のみ保証が有効になります。保証期間中に有効な保証書をご提示いただくと、保証対象のすべての不具合の修理を無償で受けていただくことができます。お持ちのロンジンウォッチの通常の使用状態が修理によって修復されない場合、Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A.は、同一のロンジンウォッチまたは類似の特性を持つものと交換することをお約束します。交換した時計の保証は、交換した前の時計の保証期間が終了した時点で終了となります。

この保証において以下は対象外となります:

- 通常の消耗と経年変化 (例: ケースおよび/またはクリスタルの傷、ケース、革ストラップ、布製ストラップ、ラバーストラップ、その他非金属製ストラップ、PVDコーティングの変色、素材の変質、ブロンズの着色など)。
- 不適切な使用、乱用、不注意、過失、事故 (打撃、へこみ、潰れ、ガラス破損、ブレスレット

交換時にできた傷など)、取扱説明書に従わないことによる時計の損傷。

- ロンジンウォッチの使用、不具合、欠陥、精度の欠如に起因するいかなる種類の間接的または結果的な損害。
- ロンジンから認定を受けていない人がロンジンウォッチに手を加えた場合 (例えば、電池交換、サービスや修理) や、Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A.のコントロールの及ばない範囲で元の状態が変更されていた場合。

Compagnie des Montres Longinesに対する他のすべての請求 (例えば本保証書に規定されているもの以外の損害賠償など) は、購入者が製造者に対して主張できる法的な権利を除き、明確に除外されています。

このメーカーの保証書は:

- 販売者が提供するあらゆる保証とは無関係であり、販売者が単独で責任を負います。
- 販売者に対する買い手の権利、または買い手が販売者に対して有するその他の強制的な権利に影響を与えません。

Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A. のカスタマーサービス部門は、ロンジンウォッチに最適なメンテナンスをお約束します。時計のお手入れが必要な場合は、ロンジン正規販売店または当社ウェブサイト www.longines.com に掲載されているロンジン正規サービスセンターにお任せください。Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A. の基準に沿ったサービスを保証いたします。

* Compagnie des Montres Longines, Francillon S.A., CH-2610 Saint-Imier, Suisse. ロンジン®は登録商標です。

ロンジンウォッチをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。ロンジンウォッチを初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いになるようお願いいたします。お手持ちの時計の詳細情報や複雑機構が搭載されている時計の情報につきまして、当社のウェブサイト www.longines.com/instruction-manual にログインするか、QRコードをスキャンいただくことで、詳細情報やチュートリアルにアクセスすることができます。



防水性に関する注意点

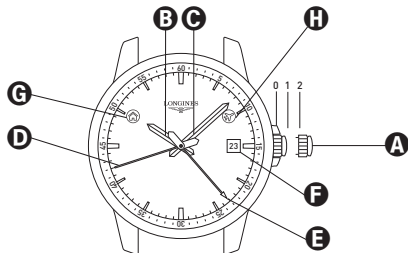
時計の防水性はパッキンの乾燥による劣化や、誤ってリュースに衝撃を与えた場合に影響を受けることがあります。時計の防水性を維持するために、海水に触れた後は真水で洗い流し、年に一度はロンジンの正規サービスセンターで時計の防水性を点検していただくことをお勧めします。絶対に時計をご自身で開けないようお願いいたします。

重要事項！ 水中では時刻設定用のリュースおよびプッシュボタンを絶対に作動させないでください。また、水に浸かる前にリュースとプッシュボタンが完全に押し込まれ、またはねじ込まれていることをご確認ください。

国際保証書	2
防水性能	3
時刻の設定	4
ロンジン保証カード	5

ケースバックの表示	意味*
なし	非防水仕様
3 bar 	3 気圧 (30 m) までの防水仕様*
5 bar 	5 気圧 (50 m) までの防水仕様*
10 bar 	10 気圧 (100 m) までの防水仕様*
30 bar 	30 気圧 (300 m) までの防水仕様*

*メートル単位の防水深度は ISO 22810 に基づいて適用される超過圧力と同程度のものとなります。

**A** リューズ**E** GMT/24 時間針**B** 時計**F** 日付表示**C** 分針**G** 自国の時間**D** 秒針**H** 旅先の時間

時、分、秒、日付、セカンド タイムゾーンの時刻表示を備えています。

ねじ込み式リューズ

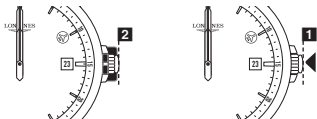
モデルによってはねじ込み式リューズが採用されています。その場合、時刻合わせ、日付の修正、巻き上げを行う前にリューズを反時計回りに回して緩める必要があります。調整が終了したら、時計の防水性を確保するために、リューズをポジション 1 に押し込みながらしっかりと締め付けてください。

初めて使用するに際して

時計は「省エネ」モードの状態での納品されます。工場からの出荷時、時計の針は 12 時に設定され、リュースは巻真の周りに配置された黒いステーブルによってポジション 2 に保持されています。そのステーブルは初めて使用する際に取り外す必要があります。その作業が行われていることを販売店に確認してください。行われていない場合は、次の手順に従ってください

黒いステーブルを取り外し、リュースを解放します。

リュースをポジション 1 に押し込みます。時計は自動的にスイスの時刻と日付に設定されます。その後、ローカルタイム（現地時間）に設定することができます（「時刻合わせ」セクションを参照）。



重要

リュースをポジション 2 に 60 秒以上引き出しておくと、時計は自動的に「省エネ」モードに戻り、針は 12 時に戻ります。

表示モードの選択（「切替」機能）

表示モードの表示：リュースをポジション 0 に短く押します。秒針が一時的に ⑥（10 時位置）または ④（2 時位置）に移動します。表示モードの変更：リュースをポジション 0 に

短く 2 回押して表示モードから別のモードに切り替えます。

3 秒後、秒針は標準モードに戻ります。



① 自国の時間



② 旅先の時間

時刻合わせ

次の手順に従って時刻を手動で調整します：

- 本国モード：

リュースをポジション 2 に引き出します。針が希望の時刻を指すまで、リュースを時計回りまたは反時計回りに回して、希望の時間表示にします。リュースをゆっくりと回すと、1 分刻みの調整が行えます。秒針は自動的に 12 時に戻ります。リュースを速く回すと、1 時間刻みの調整が行えます - 針は 1 時間単位で進むか戻ります。時刻を合わせたら、リュースをポジション 1 に押し込みます。

- 旅先モード：

リュースをポジション 2 に引き出します。針が希望の時刻を指すまで、リュースを時計回りまたは反時計回りに回して、希望の時間表示にします。リュースをゆっくりと回すと、15 分刻みの調整が行えます。

リュースを速く回すと、1 時間刻みの調整が行えます - 針は 1 時間単位で進むか戻ります。時刻を合わせたら、リュースをポジション 1 に押し込みます。

日付の修正

リューズをポジション 2 に引き出します。リューズを時計回りまたは反時計回りに速く回すと、分・秒の表示に影響を与えることなく、時針を 1 時間単位で連続して進めたり戻したりすることができます。

時針が0時を過ぎると、修正の方向に応じて、カレンダーに翌日または前日の日付のいずれかの新しい日付が自動的に表示されます。パーペチュアル カレンダーを狂わせないために +/- 1 日の範囲で調整が可能です。リューズをポジション 1 に押し込みます。

電池切れ (E.O.E.)

および電池切れ予告 (E.O.L.) 機能

この時計は、いずれかの針が 5 秒ごとにジャンプして進行することにより、「電池切れ」が近づいていることを知らせます。このモードになってから約 6 ヶ月後、時計は E.O.E. モードに切り替わります：針が 12 時で停止します。時計の電池を E.O.L. モード中に交換した場合、または E.O.E.モードに切り替わってから 6 ヶ月以内に交換した場合は、パーペチュアル カレンダーを調整する必要はありません。一方、その期間を過ぎて電池を交換した場合は、認可された時計職人によるパーペチュアル カレンダーのプログラミングが必要になります。

時計の保証書にありますがQRコードをスマートフォンのカメラでスキャンすると、ロンジンのホームページにアクセスできます。33カ国語で利用可能なお使いの時計の特定の取扱説明書、メンテナンスアドバイス、保証条件などが記載されています。



これらの情報は、この取扱説明書に記載されているQRコードまたはwww.longines.com/instruction-manualと入力することでアクセスできます。



www.longines.com/instruction-manual